

◎大船駅周辺整備の経費

周辺整備事業 【 大船駅周辺整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想に定める地区の将来像の実現に向けてまちづくりを進めていくため。

効果 ①商業拠点の形成と都市機能の強化による賑わいのあるまち②優しさと快適さを備えた魅力ある都市環境を創造するまち③活力に溢れ暮らしに文化の香りたようまちを創造する。

【事業の内容】

(1) 周辺整備事業

- ・大船駅笠間口前を安全で快適な歩行空間として整備するため、大東橋南側市街地整備用地の取得等の交渉を権利者に行ったが合意に至らず、事業の実施ができなかった。
- ・鎌倉芸術館周辺地区における、アーバンモール整備事業の具体化に向け、住民等の合意形成を目指す目的で、地権者への意向確認調査や懇談会を行った。
- ・鎌倉芸術館周辺地区における住民主体のまちづくり活動(砂押川沿いの桜並木の保全再生等)への支援を行った。

(2) 周辺整備運営事業

- ・まちづくり協議会(2地区)を運営した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

都市づくり基本構想の推進(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-④)

大東橋周辺地区のまちづくり(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑥)

鎌倉芸術館周辺地区のまちづくり(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑦)

大船駅南部地区のまちづくり(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
55,590	55,590	1,093		54,497

主な支出内訳

・周辺整備事業

鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援業務専門員等報償費	234
鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援業務用消耗品費	267
鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援樹木管理委託料	273
大東橋南側市街地整備用地価格の意見書作成業務委託料	42
大東橋南側市街地整備用地整備工事請負費	0
大東橋南側市街地整備用地取得費	0
大東橋南側市街地整備用地建物等補償費	0

・周辺整備運営事業

まちづくり協議会(2地区)専門委員報償費	132
まちづくり協議会(2地区)用等消耗品費	137
カラーコピー等印刷製本費	8



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想及び基本計画(案)に基づき、大東橋周辺地区、鎌倉芸術館周辺地区、大船駅南部地区の3地区について、まちづくり協議会を継続し、まちづくり方針の実現に向け、地区計画や景観法に基づく特定地区等のまちづくりルールの策定を図る。 ・大東橋周辺地区については、計画的な都市整備の誘導を図るため、地権者の意向把握や意見交換の場を設ける。 ・松竹通り沿道については、地元の意識啓発を図り、大船駅と鎌倉芸術館を結ぶ都市軸にふさわしいまち並み形成の誘導を図る。 ・本市の再開発事業と横浜市側の再開発事業等について、都市整備の実現に向けた柔軟な対応を図る。 ・まちづくり交付金の事務執行について、適切な執行体制のあり方を検討する。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・鎌倉芸術館周辺地区については、地区計画や景観法に基づく特定地区等のまちづくりルールの策定に向け、まちづくり専門家等によるまちづくりのルール等の素案を策定し、地権者等の意向把握や意見交換を行う場として懇談会を開催した。 ・大船駅南部地区については、富士見町町内会と協働で、鎌倉市まちづくり条例に基づく自主まちづくり計画を策定し、提案した。 ・まちづくり交付金事務の執行体制について庁内調整し、平成21年度から管轄を企画部局へ移行することについて合意が得られた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・大東橋周辺地区については、大船駅の北の玄関口としてのまちづくりや計画的な都市整備を誘導する必要があるため、笠間口開設後の周辺での土地利用や横浜市側の再開発事業等の動向を踏まえ、地権者等の意向把握に努めているところである。 ・大船駅と鎌倉芸術館を結ぶ都市軸となる松竹通り沿いのまちづくりを進めるためには、地元の協力は不可欠であるが、現時点では、まちづくりに対する地元意識の高まりが見られない状況にある。 ・本市及び横浜市側の再開発事業等の進捗遅延のため、都市整備の実現に向けた対応が遅れている。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・大東橋周辺地区については、大船駅の北の玄関口としてのまちづくりや都市整備に対する権利者等の意向を把握し、意見交換の場を設け、理解を得られるように努める。 ・松竹通り沿いについては、他地区のまちづくり状況を見据えながら、地元意識の高揚を図るための手法を検討する。 ・本市及び横浜市側の再開発事業等の進捗状況に併せ、関係機関及び地元住民等との調整を図る。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想及び基本計画(案)に基づき、地域の特色を活かしたまちづくりを進めるとともに、定着しつつある住民主体によるまちづくりへの支援を継続し、地区のまちづくり方針の実現に向け、市民との協働によるまちづくりを推進していく。横浜・鎌倉両市の駅前再開発等の状況を見据え、駅直近の基盤整備の具体化について関係者と調整を図っていく。		
担当課長氏名:	渡辺 一		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	大船駅周辺のまちづくりについては、周辺状況の変化に柔軟に対応し、まちの魅力と拠点性を高めていく都市整備が必要である。まちの将来を展望しつつ、限られた資源の活用し、効率的な事務事業の展開が必要である。身近なまちづくりの主役は地元住民や企業・大学等であり、地域主体のまちづくりを進めるためには、行政支援は必要不可欠である。		
担当部名	経営企画部	部長名	瀧澤 由人